



やの しょうぞう 議員
矢野 昭三

戦没者顕彰 現在の施設を平和公園に 今は位置づけせず

問 旧佐賀町の大字（部落）ごとと、白田川、大方に戦没者顕彰石碑が建立されている。恒久の平和を願い現在の施設を平和公園として位置づけるか。

また、これらの施設は総合的な管理が不十分だ。「平和を願う誓いを風化させない」ためにも町が主体になって管理するかを問う。

答 松本町長

遺族会は今ある戦争遺産を管理し、そのままの形で残してほしい意向。草刈の管理を続けていく。現状のままですというのが遺族会の意向。施設すべてを町が管理し整備する事には至っていない。



老朽化した横浜招魂碑

福祉・医療

**疑似体験が
必要では
情報を収集し
判断**

問

住民の健康状態には違いがあり、住民に寄り添った高齢者疑似体験が必要と思うが対応は。また、町営診療所の薬剤投与についてと、医療介護等在宅医療を推進するため、住民の声を聴いているか問う。

答 松本町長

社会福祉協議会やうち人づくり広域連合、新規採用職員研修で疑似体験研修を実施している。薬剤投与は、診療所と薬局を回線で結び薬剤師が患者に対し服薬指導を行う方法を年度内の本格運営に向けて進める。医療・介護については、高齢者の生活を調査中で、若い方にも医療に関する調査を計画中。様々な機会を通じて住民ニーズを把握しながら、通院の移動手段助成を検討する。

町の振興

**鈴・熊野浦
辺地対策を
6年度以降に
事業予定**

問

鈴・熊野浦辺地対策事業計画、実施年度は。

答 松本町長

令和6年度以降に、辺地対策事業債の活用が見込める事業が予定されている。

防災対策

**伊与木川の
治水対策は
県と協議する**

問

土木事務所は「堰が原因で堆積した土砂の取り除きについては、堰の管理者と調整するようにお願いする」との回答だった。如何にして課題解決に取り組むか。

答 松本町長

県も、堰の管理は黒潮町であるという考えだ。治水は可動化する事が有効だが、受益者との協議をいつやるか明確な事は言えない。



改良が待たれる
成又能野浦線